

## 特別教室の他市事例

No.	所在地	学校名	学習運営方式	特徴
1	東京都多摩市	多摩市立多摩第一小学校	特別教室型	特別教室群の一体化で、調べ学習、体験学習を自由に展開
2	福岡市博多区	福岡市立博多小学校	特別教室型	家庭科室と理科室との可変性
3	東京都杉並区	杉並区立天沼小学校	特別教室型	特別教室と屋外テラス、バルコニーとの繋がり
4	千葉県流山市	流山市立おおぐろの森小学校	特別教室型	アクティブラーニングに対応する特別教室ゾーン
5	青森県三戸郡南部町	南部町立名川中学校	教科教室型	活動の内容に応じて一体的な利用ができるように配置や間仕切りを計画
6	福井県福井市	福井市立至民中学校	教科教室型	教科ごとに配置されたオープンスペース「教科のひろば」
7	茨城県大洗町	大洗町立南中学校	教科教室型	教科教室、ホームベース等を組み合わせて教科センターを構成
8	東京都板橋区	板橋区立上板橋第二中学校	教科教室型	教科教室が集まるゾーンの中心に、「教科メディア」（英語、国語など）を配置

## 小学校・中学校に必要な特別教室

特別教室	小学校	中学校
図書室	○	○
理科室	○	○
音楽室	○	○
図工室	○	
美術室		○
家庭科室(被服)	○	○
家庭科室(調理)	○	○
技術室(金工・木工)		○
外国語教室	○	

No. 1

学校名	多摩市立多摩第一小学校
所在地	東京都多摩市関戸 3-2-23
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 3 階建
面積	敷地面積：16,124.32 m <sup>2</sup> 建築面積：6,105.80 m <sup>2</sup> 延床面積：7,973.05 m <sup>2</sup> （体育館 1,521.34 m <sup>2</sup> ）
クラス数/生徒数	18 クラス：637 名（平成 22 年 3 月末）
学習運営方式	特別教室型
概要	「特別教室群の一体化で、調べ学習、体験学習を自由に展開できる。」 図書室、コンピュータールーム、理科教室、工作室、家庭科被服室、特別教室群を連続性のあるスペースに一体化。調べる、実験・体験するための環境整備。

特徴

学習能力を高める施設

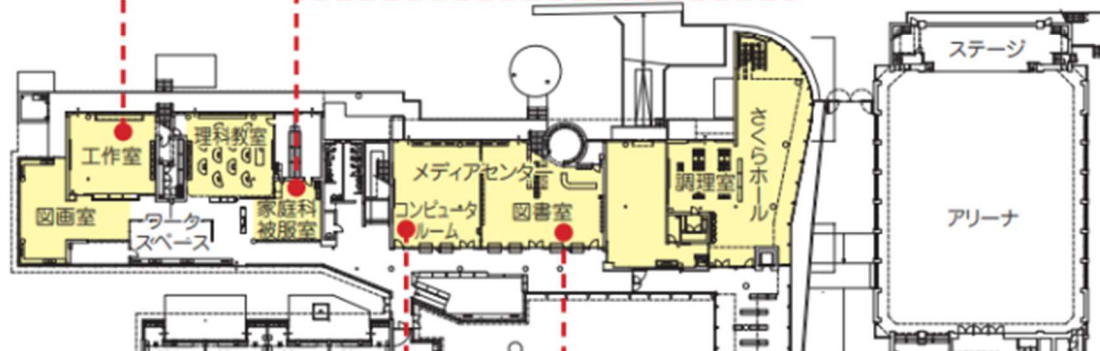
児童の調べ学習、実験や体験学習などを行いやすくするために、理科教室、図書室、工作室、家庭科被服室を一体的に配置。



1 工作室



2 家庭科被服室



3 特別教室が1階北側にまとまって配置されている



4 コンピュータールーム



5 図書室

### 児童の集中力が高まる理科教室の活用

隣接するバルコニーなどを利用した半屋外の実験や観察も行え、実験のまとめなどの時には可動の間仕切りを利用して落ち着いた空間を作ることも可能。



施設環境が整った理科教室、右奥に家庭被服室




理科教室のバルコニー空間では実験道具などの物干しや半屋外での実験スペースとしても活用



理科教室と図工室を繋ぐ、展示や発表などに利用できるワークスペース

No.2

学校名	福岡市立博多小学校
所在地	福岡市博多区奈良屋町 1-38
竣工年	2001 年
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地下 1 階 地上 5 階
面積	敷地面積：8,095.74 m <sup>2</sup> 、建築面積：3,951.53 m <sup>2</sup> 、延床面積：12,358.32 m <sup>2</sup>
学習運営方式	特別教室型
概要	限られた敷地に小学校、保育園、公民館など多様な用途を立体的に配置。結果、周辺と一体化した「まちは学校、学校はまち」のコンセプトが実現された。
特徴	
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭科室を調理室と被服室に二分している。</li> <li>調理室にはランチルームが併設され、実習で作った料理をみんなで一緒に試食できる。</li> <li>被服室は理科室と可動間仕切りで仕切られているので、開放して可動機を移動させれば、広い部屋を被服室、理科室のどちらにも使える。</li> </ul>	

福岡建築ファウンデーション： <https://www.fafnpo.jp/hakata-elementary-school>

No.3

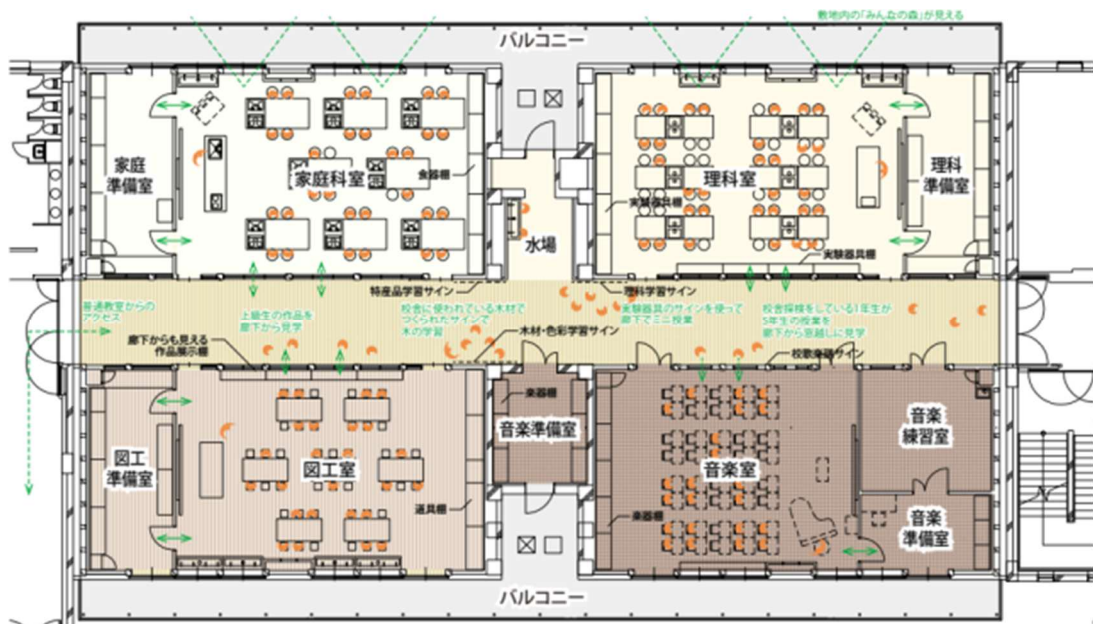
学校名	杉並区立天沼小学校
所在地	東京都杉並区
竣工年	2010 年 12 月
構造規模	鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 4 階、地下 1 階
面積	延床面積：8,714m <sup>2</sup>
学習運営方式	特別教室型
特徴	
<ul style="list-style-type: none"> <li>普通教室や特別教室を「風のテラス」や「センターコート」、デッキバルコニーでつなぎ、空間的にも視覚的にも連続する計画。</li> </ul>	

佐藤総合計画： <https://www.axscom.jp/project/no03048/>

No.4

学校名	流山市立おおぐろの森小学校
所在地	千葉県流山市大畔 316-1
竣工	2021年3月
構造規模	木造 鉄筋コンクリート造 鉄骨造 地上3階 地下1階
面積	敷地面積：21,271.39㎡、建築面積：5,648.88㎡、延床面積：12,423.75㎡
学習運営方式	特別教室型

特徴



- シンプルな中廊下型の教室配置を基に、学年進行とともに変更する普通教室と、アクティブラーニングに対応する特別教室ゾーンを両立させている。

No.5

学校名	南部町立名川中学校
所在地	青森県三戸郡南部町
竣工年	平成 16 年
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造 2 階建
面積	延床面積：9,830.12 m <sup>2</sup>
学習運営方式	教科教室型

計画のポイント

汎用性を持たせる工夫

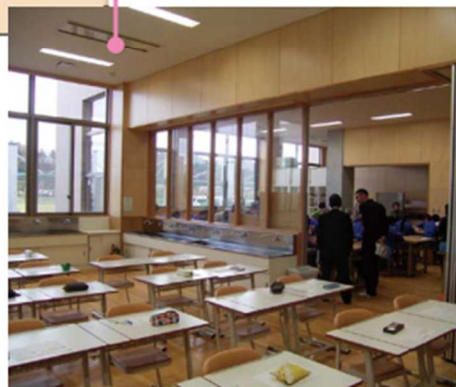
- 作業台等の家具、床仕上げ、防音性、設備等、活動ごとに必要な性能や条件をもとに、特別教室の内容や性格を再構成し、連続性をもたせて配置。

連続的・一体的な配置

- 教科ごとに特別教室を設ける場合でも、共通のスペースを設け、活動の内容に応じて一体的な利用ができるように配置や間仕切りを計画。



創造活動のためのスペースをまとめて配置



川島隆太郎建築事務所： <http://www.rkawashima.com/works/school/nagawa-jhs.html>

文部科学省、新たな学校施設づくりのアイデア集： <https://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/idea.pdf>

No.6

学校名	福井市立至民中学校
所在地	福井県福井市南江守町 65-20
竣工年	2008 年 3 月
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階建
面積	敷地面積：約 33,000 m <sup>2</sup> 建築面積：11,149 m <sup>2</sup> 延床面積：11,135 m <sup>2</sup> （体育館 2,720 m <sup>2</sup> ）
クラス数/生徒数	14 クラス：412 名（平成 22 年 3 月末）
学習運営方式	教科教室型
概要	「学年を超えた交流、学び合い教え合う環境が生徒を育てる」 世代継承をコンセプトに、上級生が下級生の模範となる交流の場を作り、教科センター方式の学びやすい環境を整備、学びのサイクルの好循環を生み出す。

特徴

**教科エリアごとの特色を生む施設配置**

- 各教科エリアでは、教科ごとに特色ある運営がなされ、生徒の学習意欲が高まるように、教科の教材や作品を用意している。
- 教科エリアには教科ステーションがあり、そこには教科専任の教師が常駐し、生徒は気軽に質問や相談に訪れる。



**教科ごとの交流を深め、学習に活かす「教科のひろば」**

- 教科ごとに配置されたのが、オープンスペース「教科のひろば」。
- 教科の授業は、教室と廊下の仕切りをオープンにして、「教科のひろば」に出て授業することもある。
- 他の学年やクラスターの生徒が刺激を受けたり、お互いが見たり見られたりすることで教科研究が深まるという効果が生まれている。



**理科への関心を深めるための実践的な施設配置**

- 理論上の考察と事実を見極めるための実証実験、時間軸を長めにとった観察を行うスペースなど、理科教育のために 2 つずつの理科教室と理科実験室のほか、屋外理科教室を配置。
- 窪地を利用した畑スペースでは植物を育て観察している。



実験器具を取りそろえた理科のひろば



先生との交流を深める  
理科ステーション



屋外実験に利用される屋外理科教室



開放的な理科教室

文部科学省：[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2010/06/04/1294512\\_15.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2010/06/04/1294512_15.pdf)

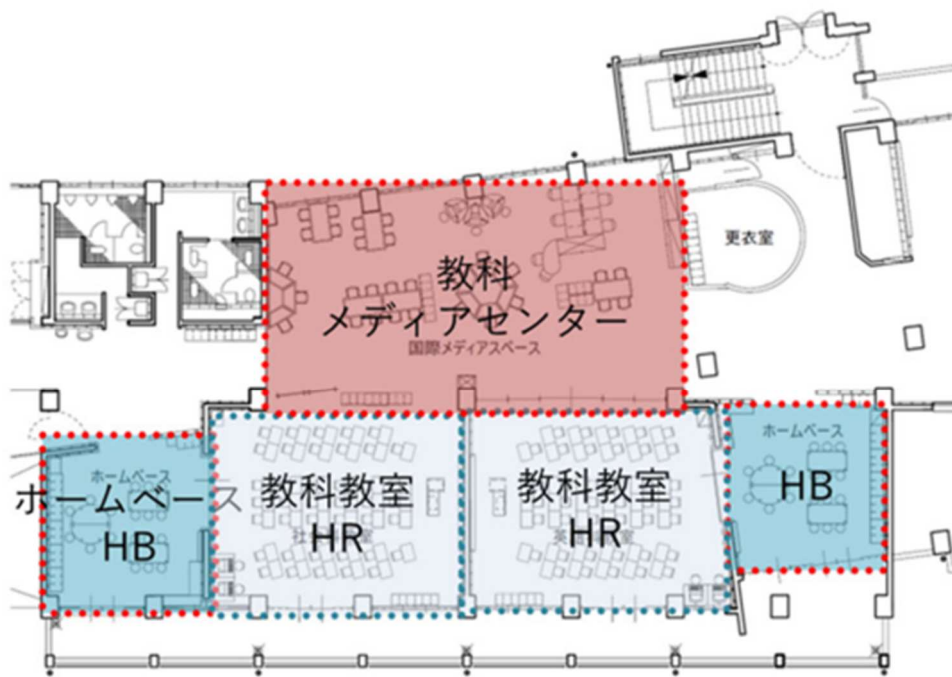


No.7

学校名	茨城県大洗町立南中学校
所在地	茨城県大洗町
構造規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
面積	敷地面積：28,993 ㎡ 建築面積：3,567 ㎡ 延床面積：6,376 ㎡
学習運営方式	教科教室型

特徴

教科教室としてまとまりをつくり、教科のメディアスペース、教科の教材室、クラスの生活拠点やロッカースペースとなるホームベース等を組み合わせて教科センターを構成。



教科センター方式のユニット(大洗町立南中学校)

教科への主体的な関わり

- 各教科の教材を展示し開放することで、子どもたちが、自身が興味関心をもった分野について自ら調べ、探すなどの主体的な行動が促される。芸術関係のリソースセンター（情報提供・展示スペース）では、伝統や芸術文化に関する理解を深めることができる。

リソースセンター（情報提供・展示スペース）：

教科の魅力が伝えられる教材や作品を見せることで、児童・生徒の興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すことが期待できる。

### 特別教室・準備室等との位置関係

- ・ 授業で用いる教材等を保管するため、特別教室と隣接又は近接した場所に配置することで、教材の準備を行いやすくなる。
- ・ リソースセンター（情報提供・展示スペース）を準備室と連続して配置することで、教材や作品の入れ替えを行いやすくなる。



学習のための資料が展示された、理科教室と連続する理科リソースセンター

理科教室側から理科リソースセンターを撮影

国立教育政策研究所 [https://www.nier.go.jp/03\\_laboratory/houdou\\_pdf/houdou\\_20230628-01.pdf](https://www.nier.go.jp/03_laboratory/houdou_pdf/houdou_20230628-01.pdf)

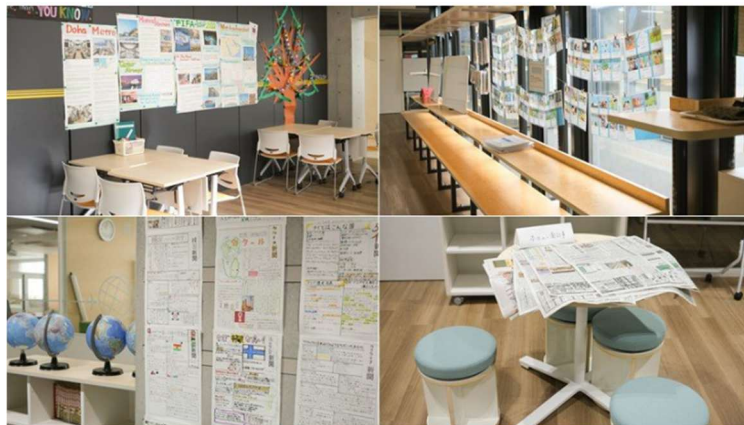
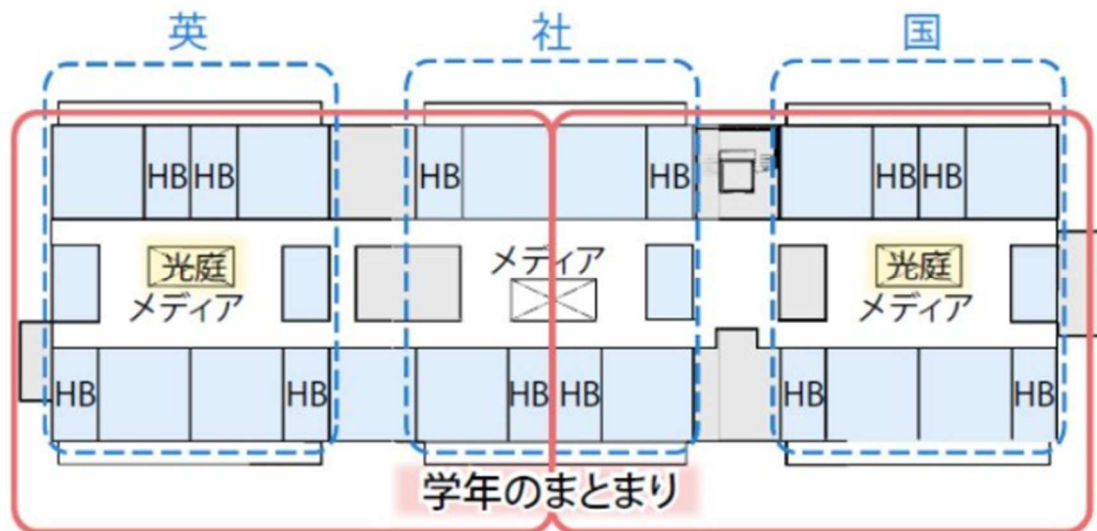
文部科学省：<https://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/idea.pdf>

No.8

学校名	板橋区立上板橋第二中学校
所在地	東京都板橋区
構造規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 5 階
面積	延床面積：9,611 m <sup>2</sup>
学習運営方式	教科教室型

特徴

各教科の深く協働的な学びを支える教科メディア



- 教科教室が集まるゾーンを中心に、「教科メディア」（英語メディア、国語メディアなど）と呼ばれるスペースを設けている。
- 教科メディアには、その教科に関する資料や書籍、生徒の作品などが展示・掲示され、椅子やテーブルが置かれて生徒が自由に歓談できるようになっている。
- 授業中にグループワークなどで使用することもある。
- 教科のゾーンには、各教科の職員室を設置。いわゆる「準備室」とは異なり、教員一人につき一台の机があり、教材や生徒の提出物などを保管できる。短い休み時間に職員室まで戻る必要がないため、働き方の効率化にもつながっている。

KOKUYO HP : <https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manabi/casestudies/case-000284/>